

看護指導部職員の皆さまへ

看護・療育実践に関する職員間で行われたカンファレンス等の記録を用いた
後方視的研究について（オプトアウト）

心身障害児総合医療療育センターでは、日々の看護・療育の質の向上を目的として、職員間で行われたカンファレンス及びその事前準備の記録や、支援活動に関する記録、キャリアラダーやポートフォリオ等で作成した面談記録をもとに、実践を振り返る機会を設けています。これらの記録は、当初は業務の一環として収集・記録されたものですが、その後、支援技術の研鑽や学術的知見の蓄積を目的に、研究として使用させていただく場合がございます。

その際は以下の方法で研究を実施いたします。研究への参加を希望されない場合は、文末に記載の窓口までお申し出ください（オプトアウト方式）。ご協力いただけない場合でも、日常業務や人事評価等において不利益が生じることは一切ございません。

【研究課題】

カンファレンス記録や面談記録等に基づく看護・療育実践の質向上に関する後方視的研究

【研究機関および責任者】

研究機関：心身障害児総合医療療育センター 看護指導部

研究責任者：高田 恵理

【研究期間】

倫理委員会承認後～ 2029 年 3 月 31 日

【研究の目的】

日々の看護・療育実践を振り返り、看護職・支援職の支援技術の向上と、学術的な知見の蓄積を目的とします。

【研究対象】

2000 年 4 月以降に当センターで勤務し、業務に関連するカンファレンス及びその事前準備の記録、実践記録、面談記録等に関与された職員の皆さま

【研究方法】

日常業務として作成された記録等などをもとに、後方視的に分析を行います。

記録中に記載された個人名や職員番号等は、分析段階で匿名化または削除します。

分析・結果のとりまとめは、当センター内において責任を持って実施します。

【個人情報の取り扱い】

個人が特定される情報（氏名など）は研究には用いません。

収集・分析に用いるデータは匿名化し、パスワード保護された電子媒体で厳重に保管します。

研究成果は、個人が特定されない形で、学会発表や論文等で使用いたします。

データは研究終了後5年間保管し、その後適切に廃棄します。

【オプトアウトについて】

本研究への協力を希望されない場合は、下記の窓口までお申し出ください。

お申し出のあった方に関する情報は、研究対象から除外いたします。

【お問い合わせ・お申し出窓口】

心身障害児総合医療療育センター 看護指導部 看護師 高田恵理

内線：531

メール：e-takada@ryouiku.or.jp